

25
volume

放課後等デイサービス

トライアングル通信

2023年9月15日発行



ニュース&トピックス

マスクの着用について

厚生労働省より、令和5年3月13日以降のマスク着用について、『個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねる』との発表がありました。トライアングルでは、感染症予防対策のためにスタッフのマスク着用は継続させていただきますが、通所してくださるお子様・保護者につきましては、個人の判断での着用をお願いいたします。

國分先生の性教育勉強会について

『思春期の性 親としての関わり方』
日時：2023年9月30日 10～11：30
場所：トライアングル講義室
会費：1,000円
お申し込みは各教室スタッフまでお願いいたします。

保護者面談について

トライアングルでは、これまでのお子様の表れや今後の在り方について、今月も保護者面談を実施します。面談は静岡大学の香野 毅先生・村上 広美先生が行います。

9月の面談日程は、スケジュールが決まり次第、トライアングルの玄関に掲示します。面談を希望される方はトライアングルスタッフにお声がけください。

ご意見・ご感想をお寄せください

第25回目のニュースレター、いかがでしたか。

まだ、至らない点がたくさんあるかと思えます。今後さらに内容を充実させていくために、ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。よろしくお願いします。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

9月 だというのに夏を思わせるような暑い日が続いています。クーラーなしでぐっすりと眠れる夜はもう少し先になりそうですね。

ニュースレター第25号をお届けします。今回もお楽しみいただければ幸いです。

暑いとはいえ、秋の夜長、虫たちのコーラスが季節の移り変わりを教えてくれています。時節柄、夏の疲れが出ませんように、体調には十分お気を付けください。

音小の子ども達とともに

福祉型大学校カレッジまどか 教師 山本 真弓

「**今**日はだれがくるのかな?」「先生、これどうするの?」「先生、したくがおわったら、だるまさんがころんだしよ。」これ

は、音小の登校時間に聞こえてくる子ども達の声です。

音小とは、児童発達支援ぱっそ音羽町教室の先生達と取り組んでいる年長さんの小学校準備教室（音羽町小学校：通称音小）のことです。「小学校ってどんな所だろう?」と楽しみでもあり、ちょっぴり不安な子ども達。その不安を少しでも和らげ、小学校への楽しみを増やしていくことを大切にしながら、小学校の雰囲気味わうことのできる場が音小です。

子ども達は音小で、子ども園とはちょっぴり違う小学校のスタイルを体験しています。小学校と同じ机と椅子、ロッカー、チャイムの音、登校してからの支度、休み時間の過ごし方、ちょっとしたことのように見えることも、一つ一つ新鮮に受け止めている子ども達。（特に、おもちゃがないことに一番の衝撃を受けていました!）

音小の子ども達は、毎回、様々な表情・姿を見せてくれます。今日は何をやるんだろうと緊張している子、新聞で作りたい虫がうまくいかなくて試行錯誤している子、迷路が上手にできて嬉しそうなお子、友達の読んでいる本が気になって後ろからそっと覗いている子、音楽に合わせてカスタネットを全力で演奏する子。その子ども達みんなに共通していることは、「もうすぐ小学生になるんだ!」という気持ち。小さな体の中に、「小学生になるからやらなくっちゃ!」という気持ちが大きく育っているように感じます。

音小では、小学校生活を想定しながら、子ども達が楽しく生活できるように、活動を計画します。そして、子ども達がわかる、子ども達に伝わる支援方法や言葉を考えます。支援を考える際は、子ども達が、いつ、どこで、何をどうするかを分かって行動できること、「自分でできた!」を子ども自身が感じ、周りとその喜びを共有し、積み重ねていくことを大切にしています。それって、支援者として当たり前でしょ!と思う方もたくさんいると思います。でも、子ども達の見え方、感じ方は私達の想定を軽く超えていきます。例えば健康観察。元気、咳、喉が痛い、お腹が痛いなどを表すイラストを見て「首が痛いです」と答えた子。（どのイラストかわかりますか?喉が痛いイラストです。確かに首が痛そうなイラストでした。）他にも『筆入れとノートを道具箱に入れる』という行動。文字で書かれた手順書とともに、筆入れとノートを道具箱に入れた写真をはっておきました。でも、子ども達からは「道具箱ってなあに?どこにあるの?」という言葉。（道具箱は机の中にあるから見えませんね。ちなみに「机の中ってどこ?」という質問も『カードを見て動こう』では、「青のカードは歩く、黄色のカードは走る、赤のカードは止まる。先生が見せるカードをよく見て動こうね。」（三つの行動を覚えているのってムズカシイ!）

支援を考える際の『見える化』は、当たり前に行われるようになってきました。その支援が何を意味するのか、どんな行動につながればいいのかを子ども自身が分かって行動し、満足感を得られる、褒められる、認められることが、支援としての意味を成し得ると考えます。子ども達の「わからない」「先生、それなあに?」という言葉は、私を更なる支援の道へと誘います。

音小のみんな!次は何をして過ごそうか。





スタッフ紹介



飯塚 英次 先生

好きなこと：トライアングル通信でも紹介いただきましたが、プラモデル（ジオラマ）を作っています。ジオラマを作るにはプラモデルだけでなく、木工工作や彫塑の技術が必要で、その作業もやります。また、『ネタ』探しのために読書にもかなり時間を使い、何が『メイン』なのか不明です。

やりたいこと：できるかできないかわかりませんが、いつかこれまで作ってきたプラモデルの作品の『個展』をやりたいです。まあ、無理だとは思いますが・・・。

一言：ほんのちょっとの子どもの成長にも、周りの莫大な支援が必要です。その労力の一翼を担うだけでなく、それを担ってくださっている方へのちょっとしたケアができたならなあと考えています。

教室のひとこま

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



UNOとジェンガが合体した『UNOスタック』。そーっと、そーっと。自分の番で倒れません様に。



ふわふわスライム作り。どうしたらふわふわするのか？ふわふわの秘密が身近なものだわかって驚いていました。



キラキラボトル作り。ぶぶぶボールがつぶれないように入れることができました。



トライアングルの夏祭りで金魚すくいに挑戦。「たくさんすくいたいなあ」。みんなの真剣さが伝わってきます。

子育てのヒント 『子どもの障害を身内に理解してもらえない』

残念

なことです。このような話は子どもに発達障害の可能性があるという事実と直面した時に、いろんなご家庭でよく聞かれます。いつもそばにいて面倒を見てお母さんは『障害受容』が早く進みますが、他の大人は他児と比較してその子の特性や課題を実感する機会がないため、『障害需要』が難しいのです。お母さんだけが抱え込むのではなく、家族みんなで支えたいものですね。以下のような工夫をしてみましょう。1. 専門的なことを伝えるより、その子自身をわかってもらうことから始める。専門的な本を渡しても理解してもらうことは困難です。その子自身の特性を理解してもらい、かわいいと思ってもらえるように注力しましょう。2. 大変さを伝える前に、子どもの良さやかわいさを伝える。愚痴のような話は聞く方もエネルギーを使うものです。最初は子どもの楽しい話題で会話を増やし、互いに喜び合えることを共有できるように。3. その子を大切に思う気持ちで、大人同士がつながるように。面倒を見てもらったことへの感謝を伝え、してもらって子供が喜んでいたことなど、小さなことでも伝えるようにしましょう。

参考：阿部俊彦『見方を変えればうまくいく！ 発達に気になる子の子育てフレーミング』中央法規、2015年、p.114-115

スタッフのオススメゲーム『ウノ スタック』

不動

の人気を誇るカードゲームの定番『UNO（ウノ）』とブロックをタワーから引き抜いて上に乗せて遊ぶ『ジェンガ』。一言でいうと、『ウノ』のルールでブロックを引き抜き、『ジェンガ』のように最後までタワーを崩さずにブロックを積み上げることができた人が勝者となるゲームです。じゃんけんで決めた親が、テーブルの上に異なる色の3つのブロックを一組にして直角に交差させながらパッケージ写真のようなタワーを作りゲームスタート。親の左隣の人からブロックを一つ抜きタワーのてっぺんに置きます。次の人は前の人抜きたブロックと同じ色が同じ数字のブロックしか抜けないというのが決まり。ブロックの中には4種類の記号ブロック（プレーの順番が逆になる『リバース』・次の番の人が一回抜かされる『スキップブロック』・次の番の人がブロックを二つ抜かなければならぬ『ドロー2ブロック』・抜いた人が好きな色を宣言できる『ワイルドブロック』）もあって、その場合にはその指示に従いゲームを進めていきます。言葉にすると難しそうだけれど、家族みんなが楽しめるおすすめゲームです。



編集後記

建築用のビスを買うため店に入ると、怖い顔をしたお姉さんが出てきた。確かここは微笑みの国のはず・・・。実はタイに来て微笑みの国だと思ったことがあまりない。なぜ微笑みの国なんて言われているのだろとググってみると、『19世紀に西洋人がタイを訪れたとき、言葉を理解できないタイ人が困って常にニヤニヤと笑みを浮かべていた』という説があるらしい。それを観光庁がアピールのために使ったというわけか。「微笑みの国」といえば日本でしょ！と、私はいつも思っているけれど。（M）

トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL：054-273-1177 FAX：054-266-4037

トライアングル・トライアングル両替町教室

ホームページ：https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/

メールアドレス：triangle@shizuoka-fukushi.or.jp